

巻頭言 絆をつなぐ技術力

代表取締役社長 植田 健二



「東日本大震災から1年。日本は復興の真最中です。被災をされた方々の中には、苦しくて心の整理がつかず、今も当時のことや、亡くなられた方を忘れられず、悲しみに暮れている方がたくさんいます。」これは、2012年の選抜甲子園の開会式。石巻工業高校主将による選手宣誓です。

昨年3月の東日本大震災から1年半以上が過ぎました。しかし、思うように復興が進んでおらず、土木に携わる我々も歯がゆい思いをしております。

そうした中で、弊社は今年6月に仙台出張所を開設しました。今まで北海道で培ってきた技術力を結集して、被災地の復興に貢献できるものと信じております。今後は北海道はもちろんのこと、東北の皆さんからも必要とされる会社になるという目標のもと、全社員一丸となり、最適環境の創造に邁進していく覚悟です。

また、今年の7月、弊社の若手社員11名が東北の被災地を視察してきました。視察レポートを見ると、あらためてインフラ整備の大切さ、土木技術者の使命感について再認識をしてきたようです。21世紀に入り、土木を取り巻く環境は厳しさを増しております。大学生のなかでも土木を専攻していながら、異業種に就職する学生が出始めており、我々も危機感を持っております。日本の社会基盤を守り、高いレベルで維持していくためにも、次世代の技術者が夢を持って、土木の世界を創造していけるような業界にしていかななくてはなりません。先人が築き上げた技術力を伝承し、さらに磨きをかけるという「技術力の絆」をつなぐことは、我々の使命と考えております。

今後とも、弊社をご愛顧下さいますよう、お願い申し上げます。